

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	福山市立加茂中学校	校長	藤田 岳士	生徒指導主事	馬屋原 浩之
-----	-----------	----	-------	--------	--------

取組事例名 『自律的活動を促す特別活動』

取組のねらい 『キーワード 自律的活動』

「自律的活動」を促すことを通して、自己肯定感を高め、社会に貢献できる生徒を育成する。

取組の具体的内容 『キーワード 関わり合い』

文化祭（学校行事）



花いっぱい運動（地域行事）



加茂川一斉清掃（地域行事）



敬老会での接待（地域行事）



取組の課題・創意工夫 『キーワード 振り返る・伝え合う』

課題は、表の①②より、自己肯定感や所属・承認意識に係る肯定的評価が 80%に満たないことである。
（学校評価アンケートより）

	項目	全体（3年生）5月
①	自分には、よいところがあります	79.7 (77.2)
②	自分のよさは、まわりの人から認められていると思います。	68.6 (66.3)

工夫点

文化祭の取組中の学活の授業で（3年生）



振り返り

振り返りの視点

- ・自分や他の人が頑張っている点
- ・さらに、取組（ミュージカル）の質をあげるためには、何をどのよう改善すればよいか。

伝える

- ・振り返った点を伝える。



取組の成果（効果）『キーワード 自己肯定感, 所属・承認意識 』

成果

(1) 下記の表より、5月と12月を比較すると、3年生の自己肯定感は、約11ポイント、所属・承認意識が約13ポイント増加した。(学校評価アンケート)

	項 目	3年	
		5月	12月
①	自分には、よいところがあります	77.2	88.3
②	自分のよさは、まわりの人から認められていると思います。	66.3	79.8

(2) 地域行事である「花いっぱい運動」では、行事当日に、生徒自ら、「集合の指示は、私がしましょうか」と言い、集合や作業場所等の指示を行った。



(3) 地域行事は、広島県中学校体育連盟の試合と重なる時もあったが、試合のない生徒が多く参加し、地域の方からも「試合があるのに、大勢の方に参加してもらって助かります」という声があった。

今 後 の 展 開『キーワード 振り返る・つなぐ 』

学校評価アンケートより

内容		5月	12月
校内や地域等でのボランティア活動の意義等を考えながら、積極的に参加している。	1年	61.5	58.5
	3年	65.9	69.9

・参加している1年生は、5月に比べ、11月の地域行事等では増加しているのに、項目に対する肯定的評価は下がっている。つまり、「ボランティア活動の意義等を考えながら」という点に課題がある。このことから、「行事だから参加する」という意識を変え、活動内容等の質をあげるために、ボランティア活動においても、その活動の意味を振り返るという場面を仕組み、より「自律的な活動」へと導いていく必要がある。

他校へのアドバイス『キーワード ねらい・振り返り・活動のつながり 』

①「振り返る・伝える」活動を仕組む。

そのためには、まず「目的に対して、振り返りの視点を具体化する」

次に、「活動内容を考える時には、目的が振り返りにつながるかをポイントにする」

②地域とつながるための校内の組織や仕組みをつくる。

地域に出向き、地域のニーズや活動を知る。そして、地域とタイアップできる校内組織や仕組みをつくる。